

OK-06 Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

設計起点のデータ活用で 全工程の意思決定を変革

～AI活用の前に判断を残せていますか？～

富士通株式会社

2026年9月

© 2026 Fujitsu Limited

AIで意思決定を 支援したい

そう考えてませんか？

意思決定時に直面する様々な課題



人・案件・部門ごとに
記録内容やタイミングがバラバラ



なぜそう決めたか
説明できない



過去の判断を活かせず、
毎回ゼロから同じ議論を繰り返す



AIが使える判断材料は残っていますか？



よくある声

「データはあるので、AIで何とかしたい」



AI活用の前に、その材料を
業務の中で残す仕組みが必要です。

判断が蓄積されない構造（現場で起きていること）



① 記録ルールがそろっていない

記録タイミング・粒度・項目がバラバラ

- ・何を、いつ、どの粒度で残すかが決まっていない
- ・必要な情報が揃わず、比較・検索しづらい



② 判断理由が残らない

判断理由が記録されない／断片的にしか残らない

- ・なぜその判断をしたのかが残らない
- ・メモ、メール、個人の記憶に依存する

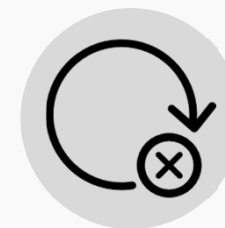


③ 業務プロセスに組み込まれていない

判断の実施や何を残すかが人に依存している

- ・判断を実施するタイミングや責任者が明確でない
- ・必要な判断情報が業務の中で残らない

その結果（事業インパクト）



継続的なAI活用につながらない

新しい業務判断や根拠が蓄積されないため、
AIが参照・活用できる判断データが増えず、
使うほど知見が更新される状態にならない。



判断データが
増えない



知見が
更新されない



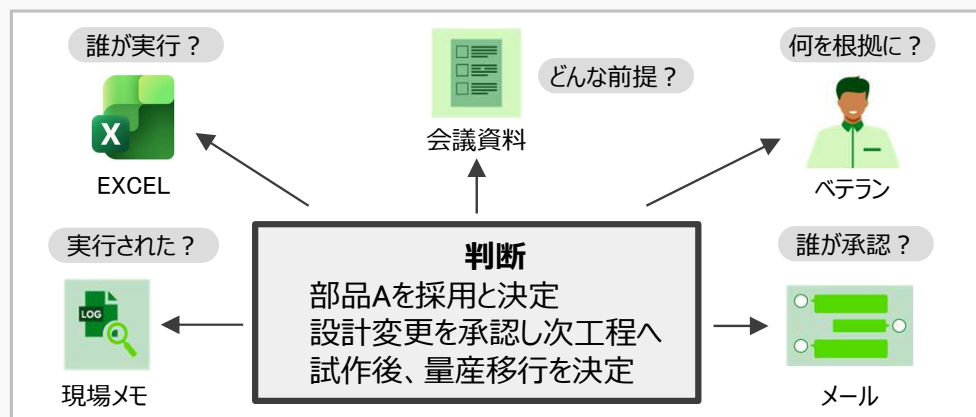
改善サイクルが
回らない

なぜその判断をしたのか説明できますか？

- 「誰が」「何を根拠に」「なぜ判断したのか」。そのプロセスを誰も説明できないまま、多額の損失につながる事故や不正が身近で起きている。事故が起きてからでは遅く、今こそ説明可能な意思決定への転換が求められる

意思決定の過程が分散し、辿れない残っていない状態

判断の説明・再現・継承ができず、さまざまなリスクが増幅



人・案件・部門ごとに
記録内容やタイミングがバラバラ

なぜそう決めたか
説明できない

過去の判断を活かせず、
毎回ゼロから同じ議論を繰り返す

説明責任リスク

事故・不正時に説明不能

品質・安全リスク

同じ判断ミスを再発

引継ぎリスク

異動・退職で経緯が消失

生産性リスク

同じ議論・調査を反復

コンプライアンス

承認根拠を証明できない

意思決定リスク

過去判断を再利用できない



品質不正による信頼の失墜

検査・出荷・リコール判断の不透明性

等が現実には発生している。

同じ議論を何度も繰り返していませんか？

- 品質要求・規制対応・事業環境の変化により、人の経験や記憶に依存した意思決定は限界
競争力の維持には、意思決定を組織として管理・説明できる仕組みが必要

これまでの意思決定の在り方

人が覚えていることを前提に何とか回ってきた



ベテランの知見



会議での補完



人とのつながり



顕在化した意思決定の問題



理由が追えない



同じ議論を繰り返す



説明できない



判断が残らない

環境の変化により、もう人頼みでは回らない



事業・業務の
複雑化



グローバル化
の深化



規制コンプライアンス
強化



ベテランの減少

過去の成功モデルは、今や持続可能性を脅かすリスクとなっている
故に、人が覚えていることを前提にした組織運営は限界に近づいている

AIの前に必要なのは組織の意思決定ガバナンス

- 現場や部門ごとに分かれていた意思決定を「会社のプロセス」として管理し、判断根拠と責任の所在を明確化することで、「説明可能な意思決定」と「確実な実行」を実現する全体アプローチ

Organizational Decision Governance Platform (ODGP)



設計変更の判断プロセスを管理し、説明可能な状態にする

- 設計変更時の判断理由・影響評価・承認履歴・実施状況を業務プロセスとして管理し、判断から実行までを説明可能なにする。

1 探す

Before

過去事例や関連情報を探すのに時間がかかる

After

設計変更判断に必要な情報や過去事例をすぐに確認できる

ゲート通過に必要な確認事項や関連情報を確認

設計変更プロセス (ガントチャート)

過去事例①

過去事例②

設計変更プロセス (ガントチャート)

プロセス

期間 (目安) 1日 5日 10日 15日 20日

G1 影響評価

G2 設計変更

G1 影響評価の実施

G2 設計変更の実施

G1 影響評価ゲート

G2 設計変更承認ゲート

ゲート設定

ゲート名 設計変更承認ゲート

ゲートID G2

説明 設計変更の承認を行うゲート

承認者 設計担当者、関係部門レビュー責任者

ゲート通過に必要なドキュメント

作業証跡リンク

エレキドキュメントリンク

2 判断する

Before

判断理由や評価結果が十分に残らない

After

判断根拠・リスク・承認状況を整理しながら判断できる

判断根拠や承認条件を整理しながら合意形成

承認の根拠 (理由・確認内容)

承認理由

必須

板厚変更に伴う強度影響はないと判断したため承認します。

・ 解析結果が許容範囲内であることを確認

・ 設計基準を満たしていることを確認

68 / 500

確認した内容 (チェック項目)

必須

✓ 解析結果が許容範囲内であることを確認

✓ 設計基準を満たしていることを確認

根拠・詳細 (任意)

影響解析レポート (rev.2).pdf (1.2 MB) ↓ ダウンロード

図面 (変更前/後).pdf (0.8 MB) ↓ ダウンロード

3 説明する

Before

変更判断や承認経緯を後から説明できない

After

判断経緯と実施状況を説明できる

案件に紐づく判断・承認・実施履歴を確認

設計変更承認 #A-102

承認済み

承認者: 設計部長 田中 一輝

承認日: 2026/07/15

案件名 LNG向け大型圧縮機 新規受注案件における基本設計の設計変更

判断・承認の履歴一覧

日時	区分	アクション内容	担当者	備考・確認内容
2026/07/12 10:15	対応	指摘事項への対応完了	山田 太郎 (設計担当)	全件対応完了
2026/07/15 10:45	承認	設計変更の承認	田中 一輝 (設計部長)	承認

実行履歴一覧

日時	工程	実施内容	担当者	ステータス
2026/07/18 09:00	設計変更実施	設計変更を製造・調達へ反映	佐藤 花子 (工務)	完了
2026/07/20 16:40	完了報告	実施結果を確認し、完了報告を受領	佐藤 花子 (工務)	完了

期待
効果



調査・確認を減らし、
開発スピードを向上



判断漏れや判断バラツキを抑制し
判断品質を向上



品質・コスト・納期リスクの
管理強化



説明責任・トレーサビリティ向上と
ガバナンス強化

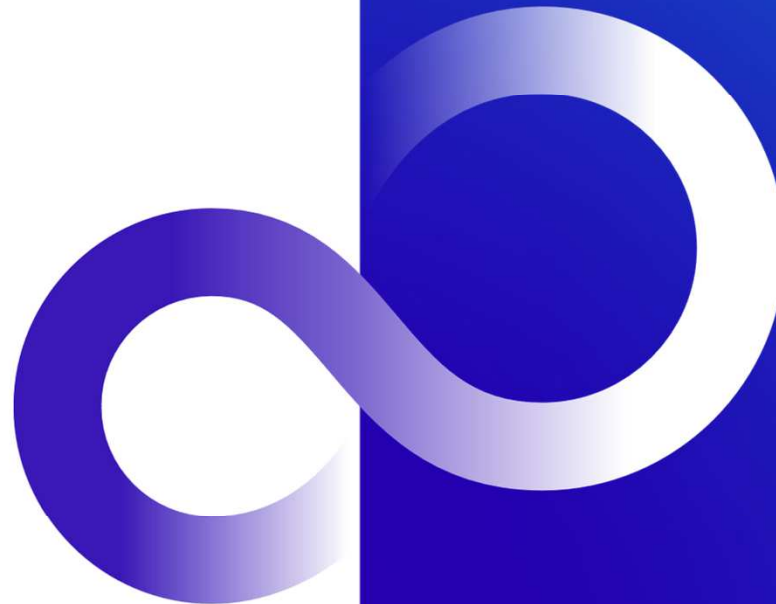
Thank you

<お問合せ先>

富士通株式会社

Sustainable Manufacturing事業部

メール : contact-sm-ea-pdpm@cs.jp.fujitsu.com



FUJITSU